

# 株主通信

第41期

第3四半期

2019年4月1日～2019年12月31日

証券コード：4828

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループ第41期第3四半期の「株主通信」をお届けし、当期の状況についてご説明申し上げます。

2020年3月

取締役社長 大澤 正典



## 第3四半期の概要

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や自然災害などの影響から輸出・生産や企業マインド面に弱めの動きがみられるものの、企業収益が総じて高水準を維持するもとで、景気は基調として緩やかに拡大しています。

情報サービス産業におきましても、情報化投資全体としては堅調に推移することが見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等、顧客の経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

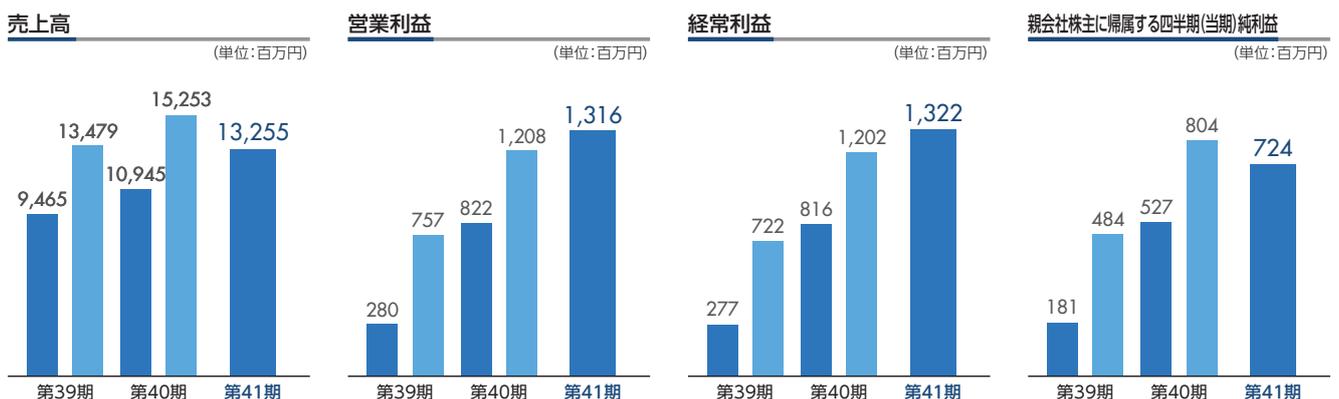
当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高13,098百万円（前年同期比14.4%増）、売上高13,255百万円（前年同期比21.1%増）となりました。利益面につきま

しては、営業利益1,316百万円（前年同期比60.0%増）、経常利益1,322百万円（前年同期比61.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益724百万円（前年同期比37.2%増）となりました。

第41期（2020年3月期）の配当金につきましては、2020年3月末時点の株主様に、1株あたり24円の期末配当を予定しており、中間配当19円と合わせた年間配当金は1株につき43円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、当事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト



※当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

# 「mcframe Day 2019」開催

～これからの基幹業務システムの話しよう～

製造業をはじめとする多くの企業において、デジタル変革(DX)が大きな注目を集めていますが、その効果を真に発揮させるためには土台となる基幹業務システム(ERP)が重要となります。2019年11月28日、「これからの基幹業務システムの話しよう」をテーマに、当社開発製品mcframeのイベント「mcframe Day 2019」を開催いたしました。



大澤社長の挨拶



DXになぜERPが必要か。オープニングのパネルディスカッションでは、パネラー様より、新たなビジネス共創のため積極的にDXに取り組まれているなかで、分散したデータを統合し、迅速な意思決定を可能にする仕組みとしてERPが不可欠であるとのお話をいただきました。

このほか、グローバルな課題から現場の課題までカバーした多種多様なセッションが設けられ、ユーザー企業様からは具体的な取り組み事例のご紹介、パートナー企業様からは様々なソリューションやサービスのご提案がありました。当社からも、DX推進に必要な基本機能と柔軟性を持つ当社開発ERPパッケージmcframeをご紹介させていただきました。

このイベントを通じて、ご来場の皆様にDX推進とERPの連携が不可欠であることをご提示させていただきました。引き続き、グローバルでビジネスを展開する製造業のお客様の良きパートナーとして、日本のものづくりを支援するITの提供に努めてまいります。

## セグメント別事業概況

### ソリューション事業

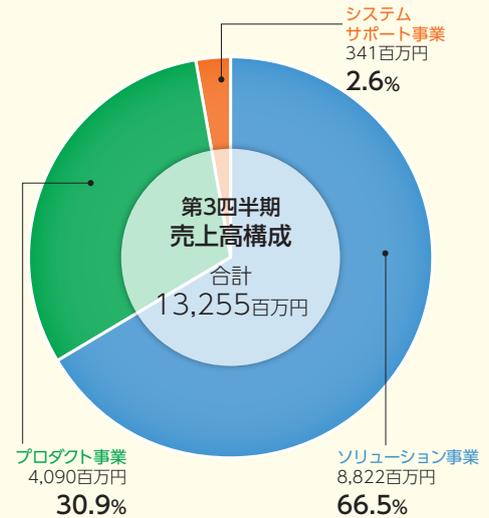
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進するとともに、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は8,422百万円（前年同期比8.7%増）、売上高は8,822百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

### プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcframe」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組みました。当セグメントの受注高は4,366百万円（前年同期比27.4%増）、売上高は4,090百万円（前年同期比10.7%増）となりました。ライセンス売上高は2,057百万円（前年同期比24.3%増）となりました。

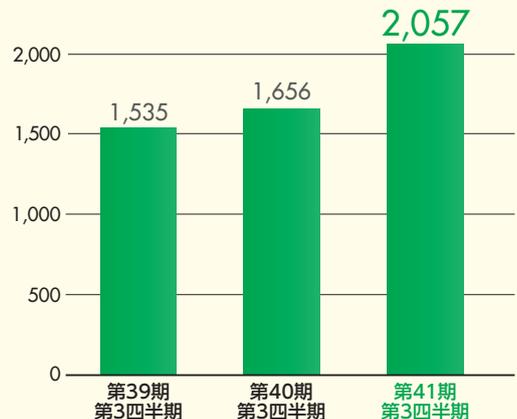
### システムサポート事業

ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は309百万円（前年同期比11.0%増）、売上高は341百万円（前年同期比53.1%増）となりました。



### ライセンス売上高

(単位:百万円)



## 財務のポイント

(単位:百万円)

総資産は、現金及び預金の増加、仕掛品の減少、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却額が有形固定資産及び無形固定資産の取得を上回ったことなどにより、前期末と比較して32百万円減少し、8,068百万円となりました。

負債は、賞与引当金の減少、短期借入金の減少、前受金の減少等により、前期末と比較して599百万円減少し、3,127百万円となりました。

純資産は4,940百万円となり、自己資本比率は61.2%となりました。

	2019年3月末	2019年12月末
流動資産	5,460	5,632
固定資産	2,639	2,435
資産合計	8,100	8,068
流動負債	3,623	3,070
固定負債	104	57
負債合計	3,727	3,127
純資産	4,372	4,940
負債純資産合計	8,100	8,068

## 会社概要 (2019年12月31日現在)

社 名 ビジネスエンジニアリング株式会社  
事業開始 1999年4月(設立 1980年12月)  
資本金 697,600,000円  
従業員数 連結616名 単体463名(2019年9月30日現在)  
業務内容 企業経営および情報通信システムのコンサルティング  
コンピュータネットワークの企画および開発  
情報通信システムの企画、開発、販売およびリース  
本社 東京都千代田区大手町1丁目8番1号  
KDDI大手町ビル  
関西支店 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号  
新大阪プライムタワー4階  
中部営業所 愛知県名古屋市中区錦3丁目4番6号  
桜通大津第一生命ビル12階  
茅場町オフィス 東京都中央区新川1丁目17番24号  
NMF茅場町ビル2階  
グループ会社 ビジネスシステムサービス株式会社  
Business Engineering America, Inc.  
畢恩吉商務信息系统工程(上海)有限公司  
Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.  
PT. Toyo Business Engineering Indonesia  
Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

## 役員 (2019年12月31日現在)

代表取締役 取締役社長 大澤 正典  
代表取締役 取締役副社長 片山 博  
専務取締役 羽田 雅一  
常務取締役 別納 成明  
取締役 古田 英樹  
取締役 中野 敦士  
取締役 佐藤 雄祐  
社外取締役 清水 弘  
社外取締役 樋口 英雄  
社外取締役 監査等委員 丸山 龍二  
社外取締役 監査等委員 志水 直樹  
取締役 常勤監査等委員 内田 直康

## 株主メモ

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

毎年6月

### 基準日

定時株主総会・期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所[郵便物送付先・電話照会先]

〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店

および全国各支店で行っております。

### 単元株式数

100株

### 公告の方法

電子公告

<https://www.b-en-g.co.jp/>

## ホームページのご案内

<https://www.b-en-g.co.jp/>

ビジネスエンジニアリング

検索

ホームページでは、個人投資家の皆様に当社をよりご理解いただくための情報をご提供しております。



IR情報ページでは、IRに関する最新のニュースや財務情報のほか、個人投資家の皆様に当社をご理解頂くためのコンテンツも掲載しております。